

く ろ す

黒須としたか

活動レポート
田園海浜文化都市宣言
CROSS通信

事務所：大網白里町大網33-8サンモア内 TEL0475-73-4126（ナミヨイフロ）
自 宅：大網白里町仏島28-8 TEL0475-73-8615 FAX0475-70-2666
http://www.geocities.jp/ooamicross/ Eメール: ooamicross@ybb.ne.jp



臨時職員への差別待遇と飲酒事故は表裏一体

3月、臨時職員が飲酒運転で懲戒解雇になった。正規職員に続いて2人目だ。

ところでこの臨時職員なる身分とはどのようなものなのか。一色議員（市民の会）が、議会で質問したところ市の労務管理の大失態が発覚した。なんと大網白里市は、多くの臨時職員に有給休暇を付与していなかったのだ。そもそも人事担当の総務課が、臨時職員など非正規雇用者について管理も把握もしておらず、各課でそれぞれの対応をしているまったくいいかげんな雇用状態が明らかになった。この状態が10年以上続いており、一色議員の質問は大手柄である。

さて、会社で言えば社長がいいかげんで（ブラック企業など）、対抗できる組合などがいないと、社員やスタッフも手抜きをしたり、自分のことだけ考えるようになり、それぞれ勝手な事をして、やがて多くの社員が疲弊する。

本市は大丈夫か？大変心配だ。

今後は非正規職員に対しても労働法規が守られることを期待するが、有給休暇の実際の取得などの改善が必要だ。公務員は優遇されているというが、非正規職員は決して高待遇ではない。にもかかわらず正規職員と同じ仕事をさせても良いと認識していた課長すらいた。

それにしても全職員の中で一色議

員が指摘したことを、組合も含めて誰も言わなかったことには驚いた。職員に対して（職員自らの権利も含めて）研修が足りていないことが浮き彫りになった。正規非正規の分断も大きい。職員の心のケアも不完全な状態だ。

余談だが、会社は倒産するが、税金で運営している自治体は、ほとんど潰れない。今回の消費増税にしても多くの本市議員は賛成している。自分の払っている税金の内容にもっともっと関心を持ち、市の予算も変えなければならない。市民サービス向上のためにも、まず職員の質を高めることが重要だと再認識させられる2つの大事件？だった。

本音のコラム 時代は糖質制限へ

●テレビや雑誌で「糖質制限ダイエット」の特集をよく目にするようになった。これまでの様々な怪しいダイエット法と異なり、多くの医師が実践、推奨している。このダイエット法は、もともと糖尿病治療の試みのなかからうまれてきたもので、科学的な裏付けのあるダイエット法としてにわかに拡がり始めた。●しかし、このダイエット法に真っ向から反対を唱える集団がいる。それが日本の糖尿病学会だ。日本の糖尿病学会はこれまで、現在もカロリー制限を進めている。しかしながら糖尿病の人がご飯などの糖質をとりながら全体のカロリーを少なくしても効果は限定された。●それどころか悪化して、やがては合併症を発生して、医者や製薬会社や医療機器メーカーの食い物にされることになる。●いま糖尿病などの生活習慣病による社会的損失は大変大きくなっている。●病気の治療ではなく、予防を通してしか解決の道はない。●世界も多くの国で糖質制限へと向かっている。●それどころか健康な人も糖質制限をすることで血管などの若返りが進み、より健康になっていくというのがすばらしい。●よく白米抜きには生きていけないなどという人がいるが、それこそ気の迷いだ。●白米を腹一杯食べているのはたかだかこの数十年だ。●人類600万年の歴史のなかでは動物食（肉食ではない、骨の髄とか魚介類など）と木の实などが主食であった。●糖質は必要に応じて脂肪から体内で作られる仕組みを人間は持っている。●無理して糖質を取る必要はないのだ。●この春、東金病院が閉院した。●この病院長がカロリー制限の権化のような糖尿病専門医で、この地域の糖尿病患者を増やまくった。●本人は悪化をくい止めたと宣伝しているが、壊そによる足切断数は減ったものの糖尿病由来の透析患者数はどんどん増えており、投薬やインシュリン注射による治療の限界は明らかだ。●世界が糖質制限に進むなかで日本の糖尿病学会だけがガラパゴス状態なのだ。●まさか世界最高の医療大国日本は糖尿病医がデタラメばかりと急に言われてハイそうですかとは言えないとは思いません。●しかし自分の健康は、自分で判断して守っていくしかありません。●一昔前と違い糖質制限の専門書も出版されています。是非ご自分の目で確かめて下さい。